

福岡県・福岡経済同友会主催 社会貢献セミナー・交流会のご案内

このたび、福岡県と福岡経済同友会の共催により「第7回社会貢献セミナー」(テーマ：子どもの貧困対策)を開催することになりました(後援：九州経済調査協会)

第一部では、(株)reveen代表取締役/ Kids Code Club 代表の石川麻衣子様に講演いただきます。石川様は、経済的事情により大学中退となった自身の経験から、子どもの貧困・教育問題の改善を目指し、プログラミング教育事業を開始。企業が子どもの教育へ貢献できる学習プラットフォームを展開中です。

第二部では、子どもの貧困の課題解決に取り組むNPO 三団体に発表をいただきます。企業の社会貢献活動について、様々なヒントや協働の機会を得る場としてご活用いただければと存じます。セミナー終了後はNPOとの交流会を開催しますので、情報交換を深めて頂ければと存じます。

是非とも多くの皆様のご参加を賜りますようお願い申し上げます。

1. 日 時 令和元年 10月 29日 (火) 15時～18時
2. 場 所 電気ビル共創館 カンファレンス A (福岡市中央区渡辺通 2-1-82)
3. 主 催 福岡県、福岡経済同友会社会貢献委員会
4. 後 援 九州経済調査協会、九州経済連合会
5. 内 容

○第一部 基調講演 (15時 10分頃～)

- ・ 講師：石川 麻衣子 氏 (株)reveen 代表取締役/ Kids Code Club 代表
- ・ 演題：「こどもの貧困～子どもたちの『希望』を支え合う社会へ」

○第二部 NPOによるプレゼンテーション (16時 10分頃～) ※別紙参照

- ①特定非営利活動法人フードバンク福岡 (貧困家庭の子どもへの支援)
- ②NPO法人いるかねっと (学習支援による社会課題の解決)
- ③特定非営利活動法人SOSこどもの村 JAPAN (子どもと家族への支援)

○交流会 (17時 10分頃～) 会費 1千円 ※講師も参加します。

※ ご出席を希望される方のみ、この用紙をFAX 092-721-4902 にてお送り下さい。

※ 10月22日 (火) まで に福岡経済同友会事務局にお申込みください。

※ ご不明な点がございましたら、事務局(092-721-4901)担当：宮迫・入江までご連絡下さい。

社会貢献セミナー・交流会 (10/29 開催)

福岡経済同友会 事務局宛 FAX 092-721-4902

- ・ 出席します (第一部 第二部のみ)
- ・ 出席します (交流会を含む)

会社・団体名 _____ ご芳名 _____

連絡先 _____

第一部 基調講演（15：10～16：00）

・株式会社 revee 代表取締役／Kids Code Club 代表 石川麻衣子

九州大学工学部中退後、独学で Web デザイン・プログラミングを学び、2008 年に Web 制作会社を設立。経済的事情で学ぶことを諦めざるを得なかった原経験から、子どもの貧困・教育問題の改善を目指し、2016 年よりプログラミング教育事業を開始。学校や行政、企業、国内外の NPO 等と連携しながら、中学校、フリースクール、子ども食堂など様々な場所で、1,000 名以上の親子にプログラミング体験教室を実施。より多くの子どもたちが自由に学べるようにするため、企業が子どもの教育へ貢献できる学習プラットフォームを展開中。

第二部 NPOによるプレゼンテーション（16：10～17：00）

① 貧困家庭の子どもへの支援 特定非営利活動法人フードバンク福岡

| | | | | | |
|-----|--------|------|----------------|-----|---|
| 代表者 | 雪田 千春 | 所在地 | 福岡市南区鶴田 4-48-4 | | |
| 設立 | 2016 年 | 事業規模 | 約 800 万円 | URL | https://www.fbfukuoka.net/ |

フードバンクは、品質に問題がないにもかかわらず市場で流通できなくなった食品を集め、食べ物を必要とする施設や団体に無償で配る活動です。私たちが取り扱っている食品は、常温、冷凍、冷蔵品の多種類の食品であり、災害備蓄品もあります。配布先の施設や団体は、子ども食堂・子どもの居場所、無償の学習塾、シングルマザー支援団体、小・中学校をはじめ、社会福祉協議会や行政の窓口、自立支援組織や福祉施設など、多岐にわたっています。食品取扱量は、18 トン（2016 年）、44 トン（2017 年）、74 トン（2018 年）と急速に伸びており、配布団体も 100 団体を超えました。近年では、災害からの生活の立て直し支援のため、被災地で活動を行う NPO を通して、食品の提供を行っています。

フードバンクは、食品ロスの発生抑制という環境問題と、食品を必要とする施設や団体へ無償配布するという福祉の問題を同時解決できる活動として、期待されています。（SDGs：ターゲット 12.3）

＜協働のイメージ＞

- ①普及・広報活動（フードバンクの仕組みや内容を知ってもらうこと、学習会・勉強会の開催、ホームページでのリンクや紹介、社内広報、他企業への紹介、クラウドファンディング紹介など）
- ②運営に関するノウハウ提供（経営戦略、広報計画、財務関係 など）
- ③食品提供の促進
- ④配送にかかる支援

②学習支援をリソースとしたボランティアプラットフォーム形成による社会課題の解決
NPO法人いるかねっと

| | | | | | |
|-----|-------|------|-----------------|-----|---|
| 代表者 | 田口 吾郎 | 所在地 | 福岡市西区上山門 1-3-27 | | |
| 設立 | 2013年 | 事業規模 | 約 1,200万円 | URL | http://npo-irukanet.com/ |

経済的な事情から塾に行けない子どもたちのために、福岡市内において「無料学習会マナビバ」を開催し、家庭環境に左右されない学びの場を提供する学習支援の他、こども食堂、食品輸送、高齢者ワンコインサービス、こども、高齢者居場所事業等の様々な活動に延べ 10,000 人が参加している団体です。活動に際しては、400 以上の様々な地域の行政、生協、社協、大学、公民館、民生員会、NPO、企業、小中学校、商店街などの地域のステークホルダーと連携し、すべてのサービスを無料、または、100 円で提供しています。10 月以降は、営利法人から事業譲渡を受け、事業規模が 20 倍程度拡大する予定です。

学習支援事業においては、政令指定都市では、行政の委託事業ではないにも関わらず 5 番目の規模の教室数にまで拡大しました。

今年度は、学習支援教室における ICT を活用した発達障がい児向けの学習支援、高校生向けプログラミング教育の拡充、こども食堂、居場所事業などの多機能化の推進。学習支援をリソースとした食品輸送網の拡充、こども事業のネットワーク化、住民団体の設立などの事業の推進を目指します。

<協働のイメージ>

- ①マナビバでの教師（サポーター）
- ②教室（会議室等）、教材（費）、補食の提供
- ③運営ノウハウの提供
- ④HP、SNS 等広報における協力

③ 子どもと家族への支援 特定非営利活動法人SOSこどもの村 JAPAN

| | | | | | |
|-----|--------|------|--------------------|-----|---|
| 代表者 | 福重 淳一郎 | 所在地 | 福岡市中央区赤坂 1-3-14 3F | | |
| 設立 | 2006年 | 事業規模 | 約 1 億 3,000 万円 | URL | https://www.sosjapan.org/ |

さまざまな事情で家族と暮らせない子どもたちが家庭的な環境で育つことができる社会をめざし、福岡市内にある「こどもの村」で育親（いくおや）と 3～5 人の子どもたちが 1 軒の「家族の家」で生活し、2020 年から全国で増加が見込まれる“里親家庭”への支援のモデルを構築しております。

また、最近行政による虐待相談対応件数が増加しているように、子育てに困難を抱える家庭が増えております。こどもの村では、そのようなご家族への支援や、こどもの村で一時的にお子さんを預かるなどして、子どもと家族への支援を行っております。

支援会員や後援会には、県内の企業とその役員が名前を連ねており、NPOを中心に行政・民間が一体となって取り組むことで、子どもや家族の課題に多くの人々が向き合い関わる場をつくり出しています。

<協働のイメージ>

- ①こどもの村の清掃活動や修繕活動ボランティアへの参加
- ②フォーラムなどへの協賛
- ③商品・サービスのタイアップの企画（寄附付き商品など）